

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-04 □支 援 部 門 道(水)路調査事業										
主管課	道水路管理課	関連課	管財課、作業センター、下水道課、建築指導課								
分野名	道路整備										
目標 (目標値)											
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考						
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯							
	事業の対象者数										
運営資源 状 況	決算値(千円)	67,013	78,849	103,173							
	(国・県)	4,605	4,381	6,531							
	(負担金等)										
	(一般財源)	62,408	74,468	96,642							
	人員配置数	8.4	8.4	9.4							
	人 件 費(千円)	73,803	76,442	84,796							
	協 働 の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	140,816	155,291	187,969							
	市民1人当 りの経費(円)	795	879	1,065							
	対象者1人 当りの経費(円)										
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名										
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)				
申請数 決定数(前年度申請含む)	○	目標値	108	131							
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	78	64							

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
道(水)路調査事業	67,013千円	①効率性	△	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	境界査定、狭あい道路拡幅整備								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)					
H22年度の課題	申請件数の増加に伴い、累積案件の数が増加している				
課題解決のための取組	測量委託業者に対して、現在職員が行っている業務の一部を委託している				
未解決の課題	登記関係資料の収集についても測量委託業者に委託したい				
今後の方針	職員数の増加が見込めない中、限られた人員でさらに決定件数を増やせるよう工夫して行く				
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名 道水路管理課長 稲葉 一男

個別事業の概要

(単位:千円)

[illegible]